

日本租税理論学会第26回大会・総会プログラム

1 開催日程

2014年11月8日(土) 10時00分～11月9日(日) 15時30分

2 会場と大会幹事

○ 会場 中央大学 後楽園キャンパス

後楽園駅【地下鉄丸ノ内線・南北線】下車徒歩5分 春日駅【地下鉄三田線・大江戸線】下車徒歩7分
〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27 TEL (03) 3817-1711 (代表)

- 会場： 31008号室 (3号館10階)
- 休憩室： 31001号室 (3号館10階)
- 理事会： 31000号室 (3号館10階)

○ 大会幹事 関野 満夫 会員 (中央大学経済学部教授)

● e-mail : sekino@tamacc.chuo-u.ac.jp

3 シンポジウムのテーマと報告者、司会者

○テーマ： 国際課税の新展開

◇基調講演 志賀 櫻 氏 (弁護士)

「リーマン・ショック後の国際租税制度と国際金融システム改革」

○報告者と報告タイトル

◇税法学から：

- ① 漆 さき 氏 (大阪経済大学経済学部専任講師)
「居住地国課税原則の現代的意義」 〈仮題〉
- ② 石村 耕治 氏 (白鷗大学法学部教授) 〈仮題〉
「電子商取引と国際的二重課税」
- ③ 井上 康一氏 (弁護士)
「租税条約の適用を巡る理論的な問題点」 〈仮題〉

◇税務会計学から：

- ① 金子 友裕 氏 (東洋大学経営学部准教授)
「グローバル化の中での法人税法の課税所得の特質」 〈仮題〉

◇財政学から：

- ① 岩本 沙弓 氏 (大阪経済大学経営学部客員教授)
「通商的側面から考える消費税・付加価値税 ～米公文書からの考察～」

- ② 鶴田 廣巳 氏 (関西大学商学部教授)
「BEPS と国際課税原則」

○司 会 望月 爾 氏 (立命館大学法学部教授) 長島 弘 氏 (立正大学法学部准教授)

4 一般報告 (自由論題)

- 長谷川 一弘 氏 (税理士)
「欧州共同体における最近のドイツ連結納税の変遷」
- 酒井 翔子 氏 (嘉悦大学経営経済学部専任講師)
「法人株式控除制度にみる英国の配当所得課税における新たな展開」
- 浦野 広明 氏 (立正大学法学部客員教授)
「滞納者の預金差押えと滞納処分の執行停止 ～二つの勝利裁判を鑑定～」

5 スケジュール

11月 8日 (土)

9:30 受付開始
10:00～10:05 開会挨拶
10:10～10:50 一般報告①: 長谷川一弘氏
10:50～11:30 一般報告②: 酒井 翔子 氏
11:30～12:10 一般報告③: 浦野 広明 氏
12:10～13:30 昼食休憩・理事会
13:30～14:50 基調講演 : 志賀 櫻 氏
14:50～15:40 シンポジウム報告①: 漆 さき 氏 (税法学)
15:40～16:30 シンポジウム報告②: 石村 耕治 氏 (税法学)
16:30～17:20 シンポジウム報告③: 井上 康一 氏 (税法学)
17:20～18:00 総会
18:00～18:20 交流会準備
18:20～20:00 交流会

11月 9日 (日)

9:00 受付開始
9:30～10:20 シンポジウム報告④: 金子 友裕 氏 (税務会計学)
10:20～11:10 シンポジウム報告⑤: 岩本 沙弓 氏 (財政学)
11:10～12:00 シンポジウム報告⑥: 鶴田 廣巳 氏 (財政学)
12:00～13:00 昼食休憩・理事会
13:00～15:30 質疑応答
15:30 閉会挨拶

5 交流会

会 場: 中央大学後楽園キャンパス 31008号室

会 費: 5,000円 ※ 交流会は、事前に参加を申し込んだ方のみ参加できます。